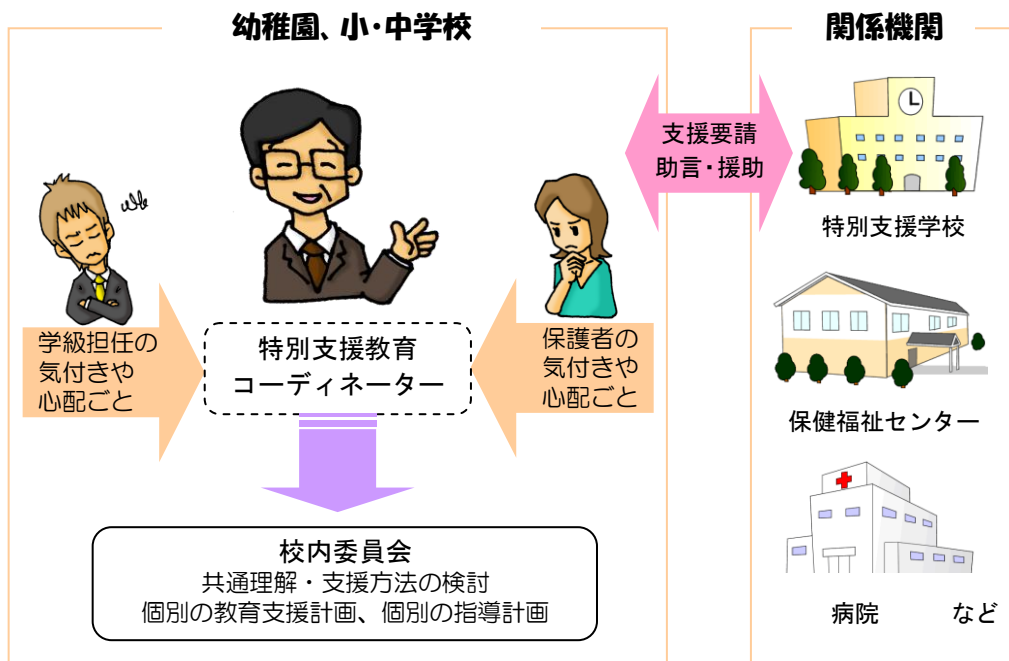


支援体制及び関係機関との連携



特別支援教育コーディネーター

保護者の相談窓口となり、校(園)内の職員や福祉・医療などの関係機関との連絡・調整を行います。

校内委員会

特別支援教育コーディネーターが中心となり、特別な支援が必要な子どもに対して、より適切な支援が行われるよう話し合う場です。

個別の教育支援計画

地域で生活する一人一人の生涯にわたる支援を各関係機関が連携して効果的に実施するための計画で、保護者をはじめ教育・福祉・医療・労働等が連携して支援するためのものです。

個別の指導計画

児童生徒一人一人の状態等に応じて、適切な指導を行うために作成されるものです。

お問合せ先

- 愛南町・篠山小中学校組合教育委員会 学校教育課 Tel. 72-1113
- お子さんが通われている保育所、幼稚園、小・中学校

★ 気になることや困っていること、何でもご相談ください ★



ひとひひとひが 輝くために

正しい理解と適切な支援を必要としている子どもたちがいます



子どもたちには、一人一人異なる個性があり、得意なことや苦手なことも様々です。保護者の方が気になること、子どもたち本人が困っていることなど、子どもの状態や特性を理解し、その子に合った支援をすることが、よりよい成長につながっていきます。

愛南町の幼稚園、小・中学校では、特別支援教育コーディネーターが中心となって保護者のみなさんの相談をお受けし、校内委員会において具体的な支援の方法を検討しています。

大切なことは、子どもたち一人一人が輝き、楽しい学校(園)生活を送ること。このリーフレットは、すべての保護者のみなさんに特別支援教育への理解を深めていただき、学校(園)と家庭が連携して歩いていくことを願い、作成しました。

愛南町教育委員会
篠山小中学校組合教育委員会
愛南町特別支援連携協議会



ひとひとに合った適切な支援が必要です



一番困っているのは、子どもたち本人です。

ただ「がんばれ！」と言うのではなく、子どもの側に立って考え、その子にあった支援の方法を見つけることが大切なのです。

たとえば・・・

聞くことが苦手なお子さん

明日の体育はマラソンをするので、体操服と、タオルを・・・

一度にいくつも言われると、覚えていられないし、忘れてしまうよ。



短いことばで言うね。絵を見せたり黒板に書いたりして分かりやすくするね。



明日はマラソンをします。体操服と、タオルをもってきてね。

落ち着きのないお子さん

授業中でも、おしゃべりしてとめられなくなってしまうの。



今はしゃべってもいいときかどうか、サインやカードで知らせるよ。



読むことが苦手なお子さん

本読みするとき、行を飛ばしたり、読み間違えたりしちゃうんだ。

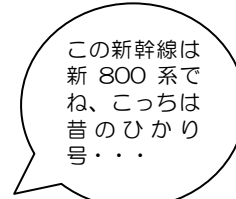


読むところを指でさしながら読むといいよ。



コミュニケーションが苦手なお子さん

この新幹線は新 800 系だね、こっちは昔のひかり号・・・



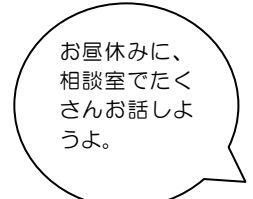
大好きなものを、たくさん話した～い！！



会話のルールを覚えるために、練習してみよう。

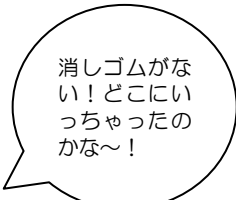


お昼休みに、相談室でたくさんお話しようよ。



片づけが苦手なお子さん

消しゴムがない！どこにいったのかな～！



どうやって片づけたらいいかわからないし、すぐに消しゴムがなくなっちゃうんだ。



どこに片づけるか決めて紙に書いておこうよ。持ち物チェック表も作ってみよう。



じゅんびOK



不器用なお子さん

縄跳びが苦手で、なかなか上手にできないよ。



ひとつひとつの動きを確認しながらやってみようよ。

